

お知らせ

平成22年11月29日

太田川放水路の自然環境の保全・再生を目指して ～「太田川生態工学研究会 研究発表会」の開催～

開催日時：平成22年12月8日 13:30～17:00

開催場所：アステールプラザ 多目的スタジオ

(広島市中区加古町 4-17)

概要

太田川放水路は昭和42年に完成した人工河川ですが、完成後約40年を経過した現在、干満に伴い海水の出入りが繰り返され、干潟等河口域特有の自然環境が創出されています。

「太田川生態工学研究会」は、放水路の海水と淡水が混じり合う汽水域の生態系や自然環境の把握を行い、海と川をつなぐ放水路が有する潜在的な環境の保全や再生を目指して調査・研究を行うために平成16年度に設置されました。

研究会は、放水路の環境について調査研究を行うため、河川、水質、植物、生物など、それぞれの専門分野によるワーキンググループで構成されています。

今回の発表会は旭橋下流の太田川放水路において、平成22年3月に造成した人工干潟におけるモニタリング調査・研究の成果を報告するものです。人工干潟の環境特性など7課題の発表を行う予定です。

聴講無料です。事前申し込み不要です。

発表会プログラムについては事務所ホームページに掲載しています。

(<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>)

同時資料提供先

広島県県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

問い合わせ先

中国地方整備局 太田川河川事務所
副所長 河野 好孝 (こうの よしたか)
計画課長 友沢 晋一 (ともざわ しんいち)
(担当) 上席専門職 笠見 紀之 (かさみ のりゆき)
住所 広島市中区八丁堀 3 - 20
電話 082 - 222 - 9246 (計画課直通電話)

平成 22 年度 太田川生態工学研究会 研 究 発 表 会



主 催：国土交通省中国地方整備局
開催日時：平成 22 年 12 月 8 日(水) 13:30～17:00
開催場所：アステールプラザ 多目的スタジオ

平成 22 年度 太田川生態工学研究会 研究発表会 プログラム

- I. あいさつ 13:30 ~ 13:40
大谷博信 (中国地方整備局 河川部長)
研究会代表 福岡捷二 (中央大学研究開発機構 教授)
- II. 事務所からの報告
干潟再生試験の経過報告 13:40 ~ 13:55
友澤 晋一 (太田川河川事務所 計画課長)
- III. 研究発表 (:発表者)
1. 河口域での有機泥の挙動・物質の輸送と河川干潟の変動・機能・地下水環境形成機構の把握 13:55 ~ 14:15
物質収支WG 福岡捷二 (中央大学研究開発機構 教授)、川西 澄、日比野忠史、駒井克昭、
後藤岳久、中下 慎也
2. 太田川における河口干潟の物理環境の形成に関する研究 14:15 ~ 14:35
物理環境WG 藤田光一 (国土技術政策総合研究所河川研究部 流域管理研究官)、大沼克弘、
望月貴文
3. 水質浄化に果たす干潟及びタイドプールの役割に関する調査研究 14:35 ~ 14:55
水質WG 清家 泰 (島根大学総合理工学部 准教授)、鮎川和泰、菅原庄吾
4. 干潟再生にともなう河口域底生生物および生息環境の時空間的变化 14:55 ~ 15:15
底生生物WG 今林博道 (広島大学大学院生物圏科学研究科 教授)、斉藤英俊
- ***** 休 憩 ***** 15:15 ~ 15:25
5. 河口域における塩性湿地植物の保全生態学的研究 15:25 ~ 15:45
水生植物WG 國井秀伸 (島根大学汽水域研究センター 教授)、荒木 悟
6. 人工干潟形成にともなう感潮性陸生動物の分布の変化と鳥類による干潟の利用状況 15:45 ~ 16:05
陸生動物WG 鶴崎展臣 (鳥取大学地域学部地域環境学科 教授)、亀山 剛、井原 庸
7. 太田川放水路汽水域における人工干潟の造成に向けた干潟生態系の把握とその持続性の評価 16:05 ~ 16:25
干潟水質WG 岡田光正 (広島大学大学院工学研究科 教授)、西嶋渉、中井智司、中野陽一
- IV. 全体質疑 16:25 ~ 16:55
- V. 閉会のことば 16:55 ~ 17:00
阿部 徹 (太田川河川事務所長)